TimeFactor Version 2.4 Release Note

Time Factor Ver.2からVer.2.4 への変更点

■ **Catchup機能の改良** - CatchupがONの時、MIDI CCによるパラメーターのコントロールを無効にしました。

■ **プリセットエリアの拡張 -** プログラムエリアが50Bank 100Presetに拡張されました。Bankモード時に呼び出すバンクの範囲設定は、UTILITYメニュー[BANKS]で表示されるL(最少バンク) > H(最大バンク)をLeft FootswitchとRight Footswitchで選択しバンクナンバーを指定します。

■ **Vintage Delay初期設定の変更 -** パラメーター ”Bits” の初期設定が20に変更されました。

■ **Vintage Delayの改良 -** Bits、Filter、Feedbackのパラメーターが改善され、よりリアルなディレイサウンドを再生します。

■ **Tape Echoの改良 -** Filter、Feedbackのパラメーターが改善され、よりリアルなディレイサウンドを再生します。

■ **エクスプレッション・ペダル操作方法の変更**

TimeFactorはエクスプレッション・ペダルによるパラメーターのコントロールが可能です。パラメーターの可変範囲はペダルを踏まない状態と、踏み込
んだ状態のそれぞれでコントロール・ノブを設定しますが、設定方法が簡単な反面、繊細な為、ターゲットバリューに設定出来なかったり、プログラムで呼び出した可変範囲の設定を変えてしまうといった誤操作の可能性もありました。
ver.2.4ではエクスプレッション・ペダルのパラメーター可変範囲の設定が下記の様に改善されています。

- エクスプレッション・ペダルの任意の位置で行われていたパラメーター可変範囲の設定を、ペダルを踏まない位置(ヒール)と、完全に踏み込んだ位置(トゥ)のみで可能にしました。
- パラメーター可変範囲の設定時間をエクスプレッション・ペダルを操作してからの2秒間に短縮しました。
- パラメーター可変範囲の設定をロックし、再設定を出来なくするペダルロック機能を追加しました。
  ペダルロック機能はUTILITYファンクションに[PDLOCK]として追加されています。

ON **:** エクスプレッション・ペダルでパラメーターを可変する範囲が設定出来ません。
OFF : エクスプレッション・ペダルでパラメーターを可変する範囲が設定出来ます。(初期設定)

■ **バンク・モードにおける、バンクセレクト方法の追加**

バンク・モードでのバンクセレクトは右側フットスイッチ(バンクチェンジ・スイッチ)を押す事によるバンクアップのみでしたが、**ver.2.4**から、右側フットスイッチを押した後の2秒間はエンコーダーによるバンクセレクトが可能になりました。

■ **パラメーターのファインチューニング**

パラメーター・ノブを操作した後の2秒間はエンコーダーによるパラメーターの微調整が可能になりました。

■ **System Menu の変更点**

[RCV CTL] に新しいバイパスセッティングが追加されました。
ACT - MIDI CC Value 0〜63 = Bypass / MIDI CC Value 64〜127 = Active
TOG - MIDI CC Value 1〜127を受信する度にBypassとActiveをが交互に切り替わります。
(ラッチ式ではなくモーメンタリー信号で動作します。)

[RCV MAP] プログラムチェンジ・コマンドでバイパス状態のリコールを可能にしました。
RCV MAPメニューで、任意のプログラムチェンジ・ナンバーに対して下記が選択できます。
BYP - Bypass (現在選んでいるプリセットがバイパス状態に)
ACT - Active (現在選んでいるプリセットがアクティブ状態に)
TOG - Bypass <> Active (現在選んでいるプリセットのアクティブ<>バイパス状態が交互に切り替わります。)

[CLK IN] MIDI Clock入力が可能になりました。エンコーダーを回してMIDI Clockの受信のOn/Offを切り替えます。
Onに設定した場合、入力されたMIDI Clockがテンポソースとして使用されます。

[CLK OUT] MIDI Clock 出力が可能になりました。エンコーダーを回してMIDI Clockの送信のOn/Offを切り替えます。
Onに設定した場合、TimeFactorのMIDI Clockは接続したMIDI機器のテンポソースとして使用されます。

[CLK FLT] MIDI Clock Filter の設定が可能になりました。エンコーダーを回してMIDI Clock FilterのOn/Offを切り替えます。
Onに設定した場合、TimeFactorは不安定なMIDI Clockソースも使用できます。

[PDLOCK] ペダルロック機能を追加しました。(前述 “エクスプレッション・ペダル操作方法の変更”の項を参照して下さい)

Time Factor Ver.1.0からVer.2への変更点

■ Control Knob / エフェクト・パラメーター

FeedBack(Fdbk - フィードバック)

フィードバック・レベルの最大値が100%から110%に変更されました。
これにより、ディレイエフェクトのフィードバックを最大値にした時にリピート音が発振状態になります。
(発振状態では音量も増加される為アンプのセッティング等に注意して下さい。)

その他、パラメーターの設定値が一部変更されました。詳しくは **"Eventide TimeFactor Parameter List"** をご覧下さい。

■ Looper

ルーパーの操作がMIDI Start/Stopコマンドで可能になりました。

■ System Mode (システムモード)

[BYPASS] バイパスモードの設定

[BYP TYP] - バイパスタイプの名称、[DSP+DLY]が[DSP+FX]に変更されました。

[AUX SW] AUXスイッチの設定

オルタネートモード スイッチの追加
バンクモードの場合はプレイモード時のフットスイッチとして、プレイモードの場合はバンクモード時のフットスイッチとして動作する"オルタネート"モードスイッチが追加されました。[AUX SW]メニューに表示される"FS1","FS2"."FS3"がそれぞれLeft Footswitch , Mid Footswitch , Right Footswitchに対応します。各スイッチのTIP,RNG,T+Rを設定して下さい。

エクスプレッション・ペダルへのアサインを追加
エクスプレッション・ペダルに設定したパラメーターをAUXスイッチでコントロール可能となりました。AUXスイッチを押している間はエクスプレッション・ペダルに設定されたパラメーター・バリューの最大値となります。

[MIDI] MIDI ファンクション

[RCV CTL] オルタネートモード スイッチの追加
バンクモードの場合はプレイモード時のフットスイッチとして、プレイモードの場合はバンクモード時のフットスイッチとして動作する"オルタネート"モードスイッチが追加されました。[RCV CTL]メニューに表示される"FS1","FS2"."FS3"がそれぞれLeft Footswitch , Mid Footswitch , Right Footswitchに対応します。各スイッチのMIDIコントロールチェンジナンバーを設定して下さい。

[RCV CTL] エクスプレッション・ペダルをMIDIコントロール
エクスプレッション・ペダルに設定したパラメーターをMIDIコントロールナンバーで制御出来ます。これによりTimeFactorに接続したエクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターをコンピューターや外部のMIDIペダルでコントロール出来ます。

[GLOBAL] グローバル・セッティング

GLOBAL [MIX] [TEMPO]
ミックスレベルとテンポをすべてのプリセットで共通にする[GLOBAL]セットアップを追加しました。グローバル・ミックスレベルとグローバル・テンポが設定可能になりました。GLOBALメニューの[MIX]、[TEMPO]で機能のON/OFFを設定します。(初期設定はOFFです。)

[UTILITY] ユーティリティ ファンクション

[SPILL] スピルオーバー
プリセットチェンジ時のエフェクト音の変化をスムーズに行うスピルオーバー機能が追加されました。
UTILITYメニューの[SPILL]で機能をON/OFF設定します。(初期設定はOFF。)

[BANKS] 20バンク/40プリセット
ver.2.0ソフトウェアではプリセット・エリアが40に拡張されました。
Bankモード時に呼び出すバンクの範囲設定は、UTILITYメニュー[BANKS]で表示されるL(最少バンク) > H(最大バンク)をLeft FootswitchとRight Footswitchで選択しバンクナンバーを指定します。

株式会社オカダインターナショナル 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤2-15-8 TEL.03-3703-3221 FAX 03-3703-1821 www.okada-web.com